2023年12月版

十勝地域の概要

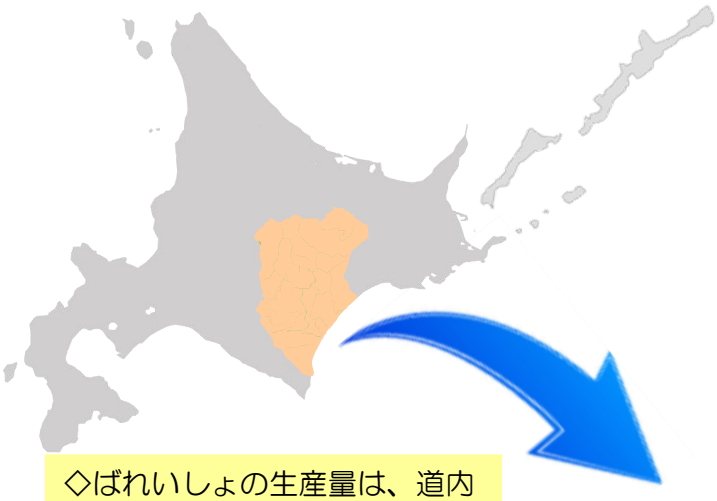
北海道農政事務所
帯広地域拠点

第1　地域の概況

◇位置：北海道の中心よりやや南東部に位置し、北に大雪山系と西に日高山脈、南と東が太平洋に面し、北海道随一の農業地帯として知られる十勝平野が広がる。

◇気候：太平洋岸を除き、大陸性気候であることが特徴で、夏は、海岸部では海霧が立ちこめ日中の気温があまり上がらないが、内陸部は比較的高温が続く。冬は、大陸性寒冷高気圧により低温が続くが、日高山脈で雪雲が遮られることから降雪量は少なく、晴天の日が続く地域となっている。

◇空の玄関「とかち帯広空港」をはじめ、充実した道路網、太平洋岸の広尾町に物流基地として整備された十勝港があることなどから、北海道東部の社会・経済・文化の中心として重要な役割を果たしている。また、十勝という地名は、域内を流れる十勝川をさすアイヌ語「トカプチ」に由来する。



◇てんさいの生産量は、道内（全国）全体の４割超。砂糖の原料となる。

てんさいの収穫　後ろは日高山脈

◇ばれいしょの生産量は、道内全体の４割超。用途は、生食用、ポテトチップ用などの加工用、でん粉原料用に区分される。

コンテナに積み込まれたメークイン

◇乳用牛の飼養頭数は、全国の18%。

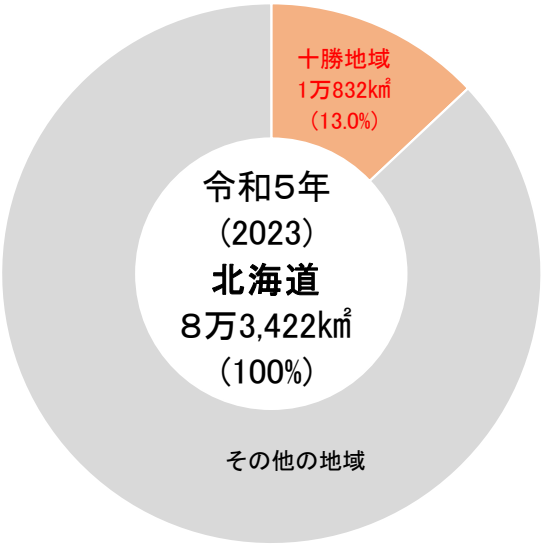
日本一広いナイタイ高原牧場（上士幌町）

19市町村（１市16町２村）

第1　地域の概況（つづき）

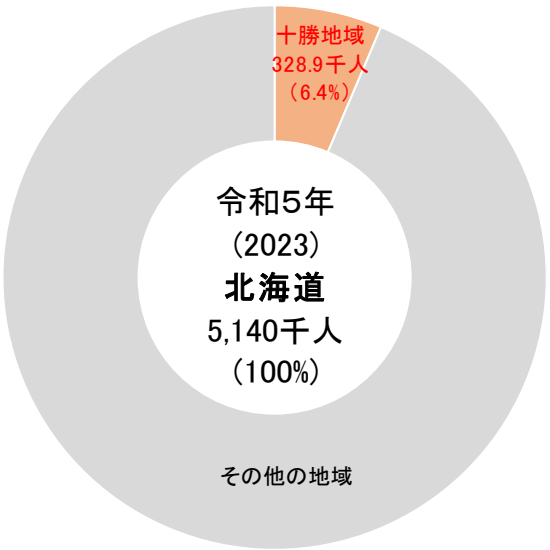
◇総土地面積は１万832㎢で、北海道の13%を占め、秋田県や岐阜県とほぼ同じ。
◇総人口は32万9千人で、北海道の6.4%を占め、そのうち帯広市、音更町、幕別町、芽室町の周辺4市町で25万1千人となっており76.4%を占めている。

総土地面積



資料：国土交通省国土地理院「令和5年全国都道府県市区町村別面積調（4月1日時点）」
注：四捨五入のため、計と内訳が一致しない場合がある。（以下同じ。）

人口割合



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和5年1月1日現在)」

第2　農業の概要

◇肥沃で広大な耕地に、小麦、てんさい、ばれいしょ、豆類（大豆、小豆、いんげん）の畑作4品による輪作やながいも、えだまめなどの野菜を大型機械で栽培する日本有数の畑作地帯である。
◇乳用牛・肉用牛の飼養頭数は全道一を誇っており、日本の食料基地として重要な役割を担っている。
◇野菜は、ながいもやだいこんなどの根菜類をはじめ、スイートコーンや葉物など多種多様な品目が生産されている。主要品目であるながいもを筆頭に、えだまめ、ゆり根などが海外へ輸出されている。

小麦の収穫作業

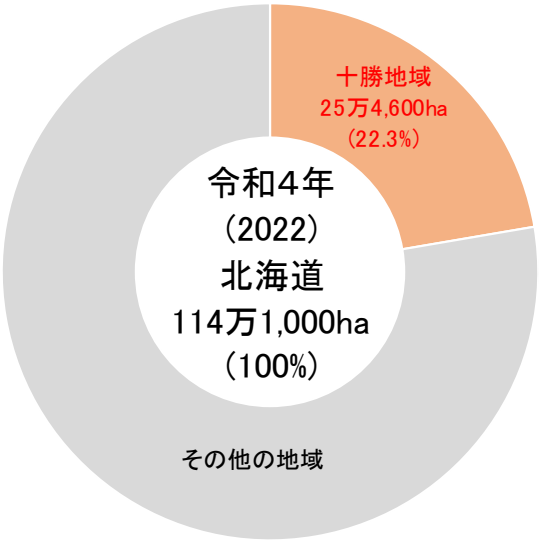
冷凍加工用えだまめの収穫作業

1　農業構造の状況

耕地面積

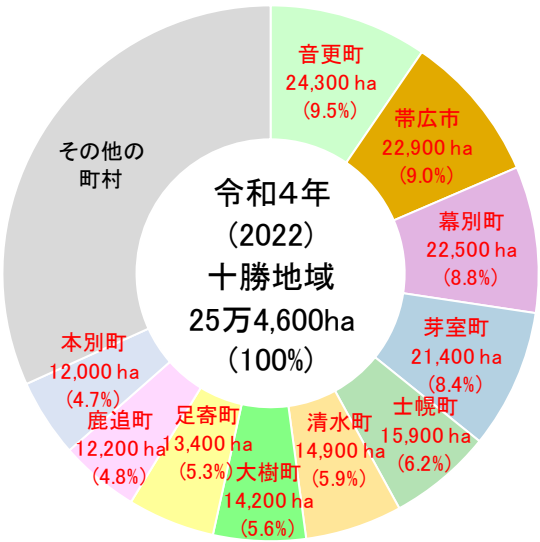
- 耕地面積 は25万4,600haで、北海道の22.3%を占めている。
- 市町村別の耕地面積は、大きい順で、音更町、帯広市、幕別町の順となっている。音更町は道内市町村の中で４番目に大きい。
- 主要農作物の作付面積割合は、小麦43.0%、てんさい23.9%、ばれいしょ21.1%、大豆11.1%の順となっている。

耕地面積の割合



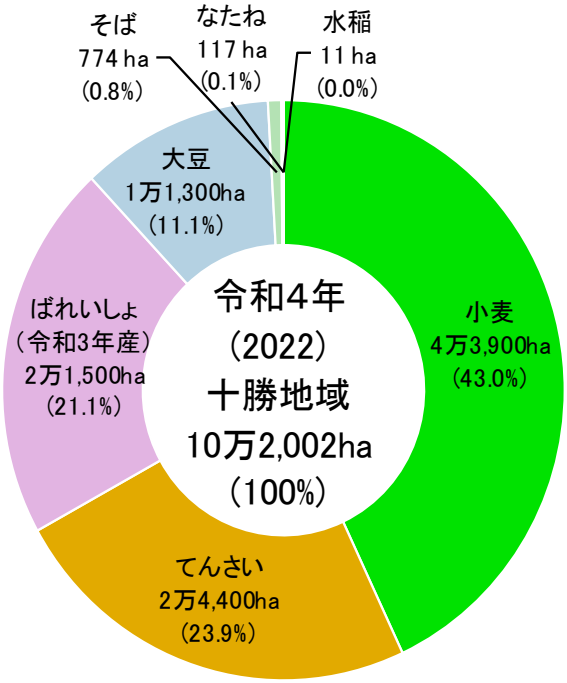
資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の耕地面積割合



資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

主要農作物の作付面積割合



資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

注：ばれいしょは、令和3年産の値である。

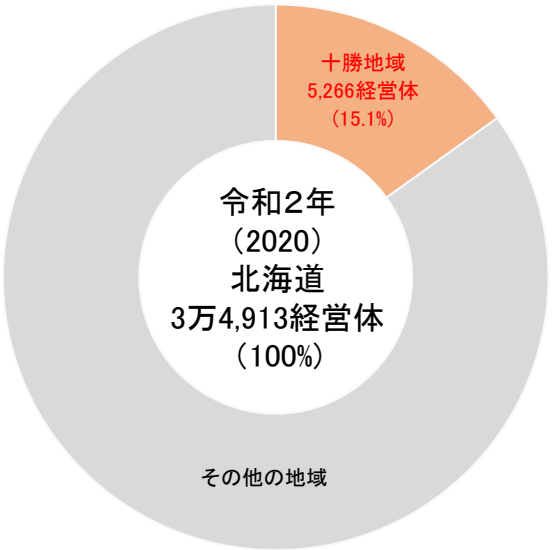
オフセットポテトハーベスターでの収獲作業

小豆の収穫作業

農業経営体

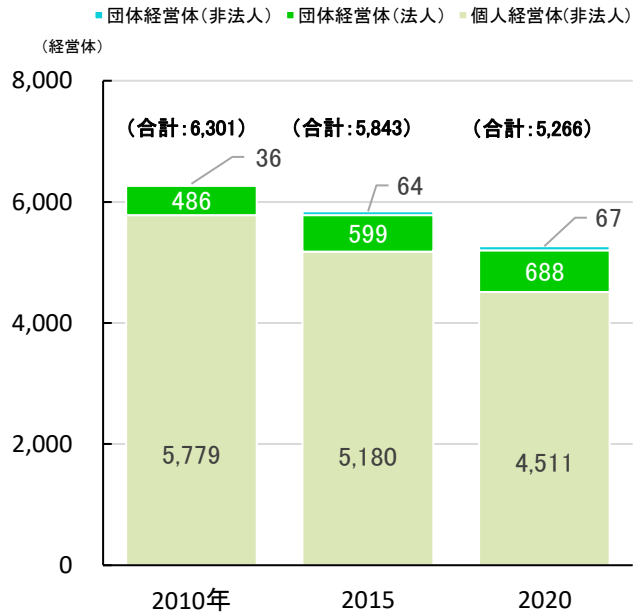
- 農業経営体数は5,266経営体で、北海道の15.1%を占めている。
- 農業経営体数は、2010年（6,301経営体）から10年間で1,035経営体（16.4%）減少。一方、団体経営体数（非法人688経営体及び法人67経営体）は、233経営体（44.6%）増加している。
- 農産物販売額金額１位の部門別経営体数の割合は、雑穀・いも類・豆類（36.2%）、酪農（22.2%）、麦類作（12.6%）の順となっている。
- 個人経営体における年齢別農業従事者数は、59歳以下が54.8%となっている。

農業経営体数の割合



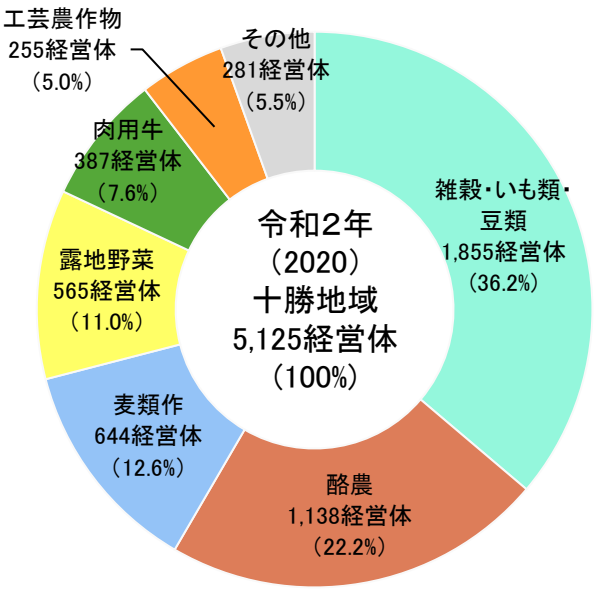
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農業経営体数の推移



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農産物販売金額1位の部門別経営体数割合

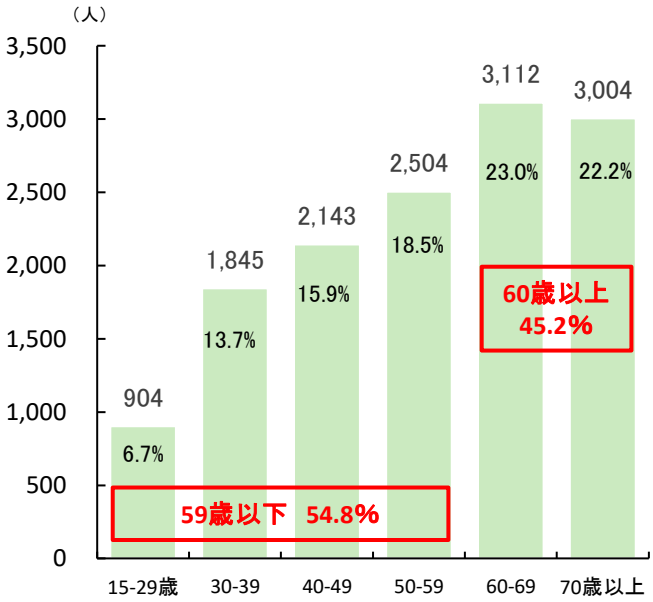


資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

注：その他は、稲作、施設野菜、果樹類、花き・花木、その他の作物、養豚、養鶏、その他の畜産の合計値である

年齢別農業従事者数(個人経営体)

＊令和2(2020)年　農業従事者数 計13,512人



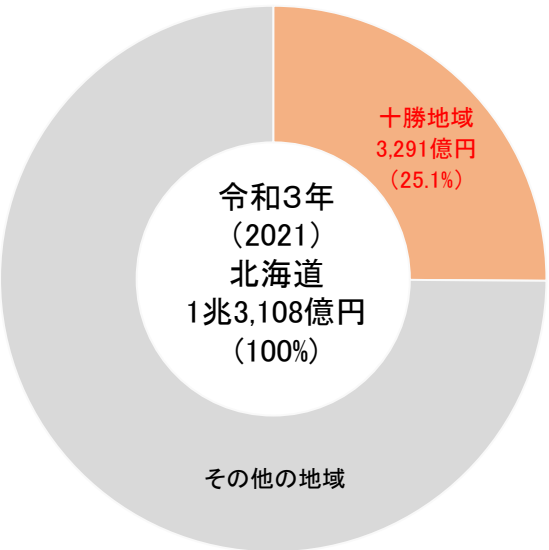
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農業産出額

- 農業産出額は3,291億円で、北海道の25.1%を占めている。
- 品目別農業産出額では、生乳と肉用牛で約５割を占めている。
- 農業産出額の多い市町村は、幕別町（道内3位）、清水町（同 ５位）、士幌町（同 6位）、帯広市（同 7位）、芽室町（同 9位）、音更町（同 10位）の順となっている。

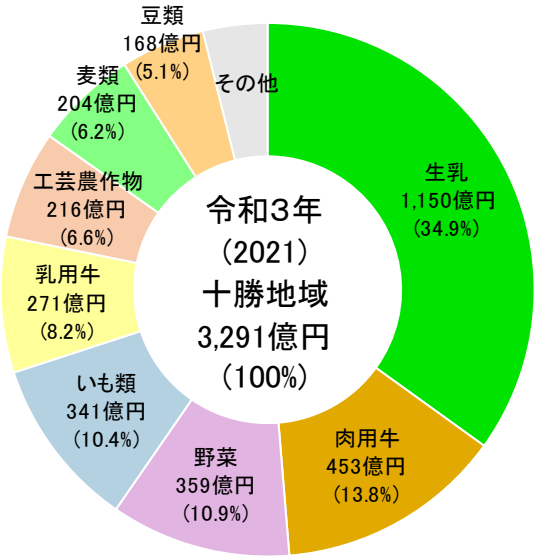
※「市町村別農業産出額（推計）」は、都道府県別農業産出額を農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分したものである。

農業産出額の割合



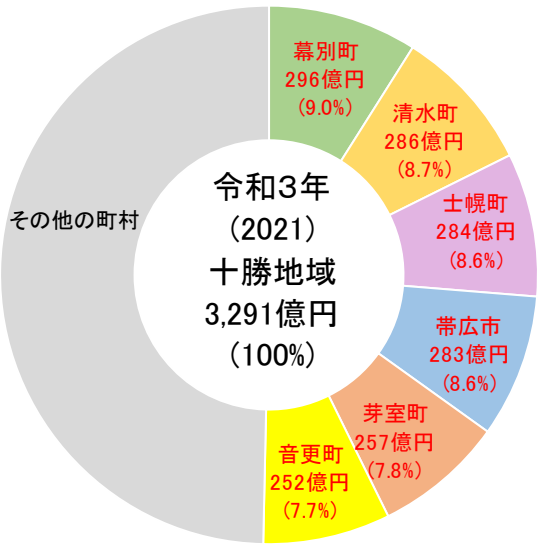
資料：農林水産省「生産農業所得統計」「市町村別農業産出額（推計）」

品目別農業産出額の割合



資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
注：その他には、米、雑穀、果実、花き、その他作物、豚、鶏、その他畜産物が含まれている。

市町村別の農業産出額割合



資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

デントコーンの収穫作業

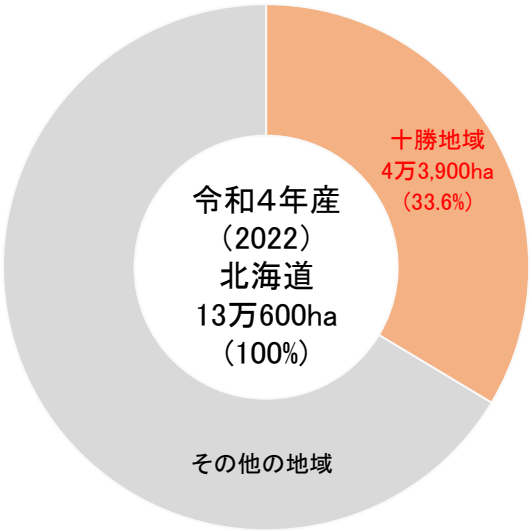
長いもの生育の様子

2 主要農畜産物の生産等の状況

小 麦

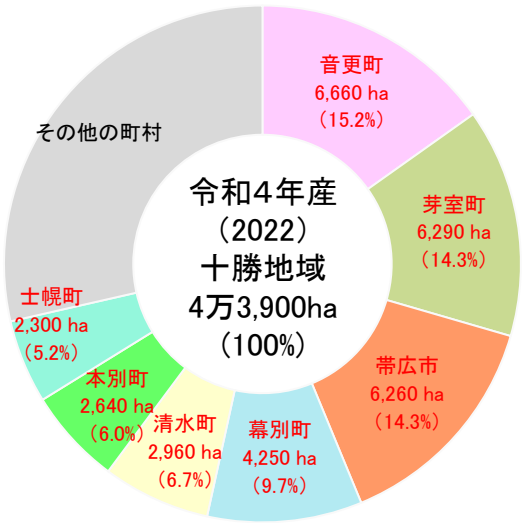
- 令和４年産の作付面積は、秋まき、春まき合わせて4万3,900haで、北海道の33.6%を占めている。
- 作付面積の多い市町村は、音更町（道内1位）、芽室町（同 2位）、帯広市（同 3位）の順となっている。
- 収穫量は21万5,400ｔで、北海道の35.1%を占めている。
- 秋まき小麦の作付面積は4万2,800haで、前年産に比べて200ha増加したものの、10a当たり収量は496kg（対前年▲195kg）に低下したことから、収穫量は21万5,400ｔで8万2,100ｔ減少した。

作付面積の割合



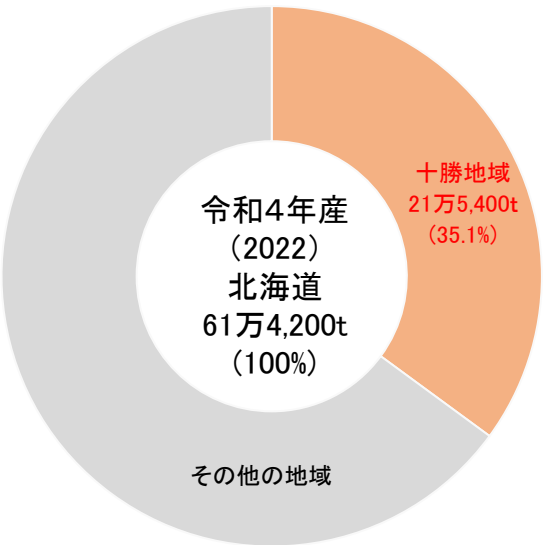
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



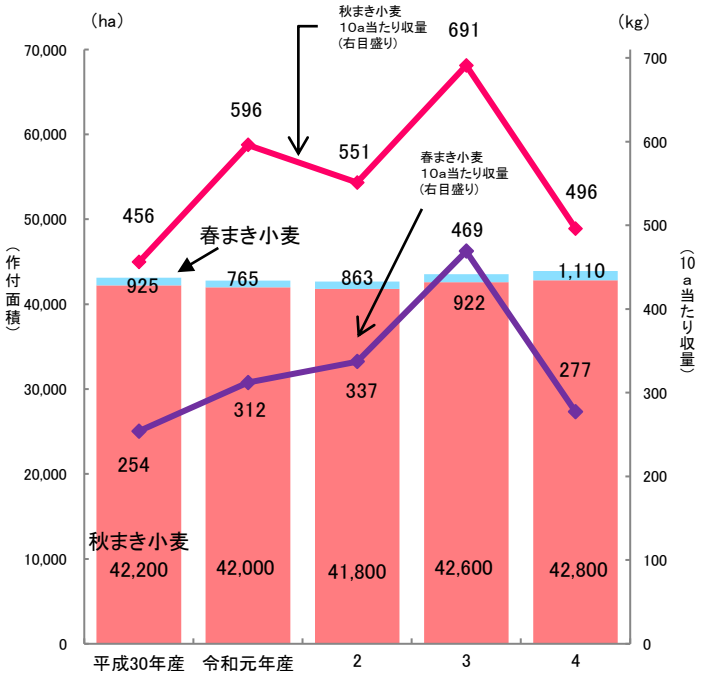
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

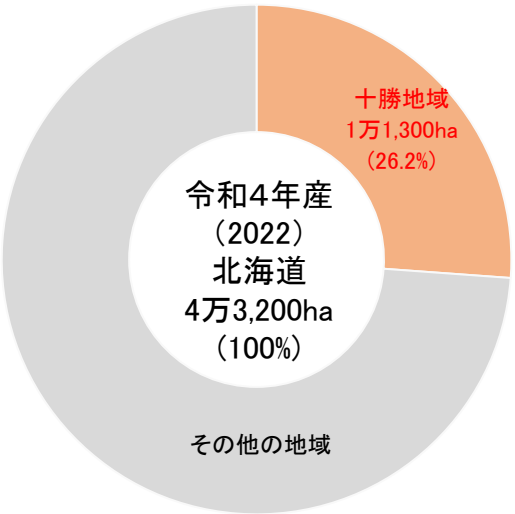


資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

大　豆

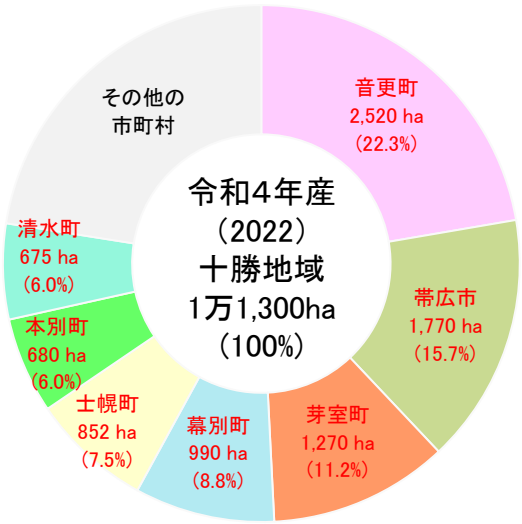
- 令和４年産の作付面積は１万1,300haで、北海道の26.2%を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順で、音更町（道内1位）、帯広市（同5位）、芽室町（同７位）となっている。
- 収穫量は2万9,600ｔで、北海道の27.2%を占めている。
- 作付面積は前年産に比べて300ha増加したものの、10a当たり収量が32kg低下したことから、収穫量は2,800ｔ減少した。

作付面積の割合



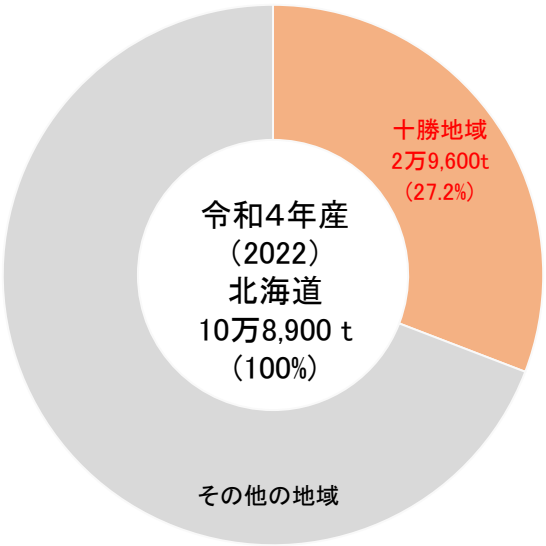
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



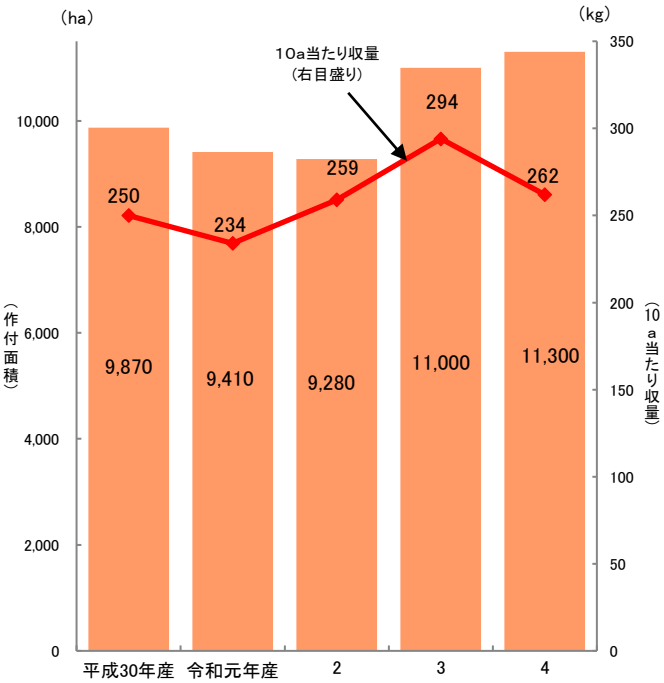
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

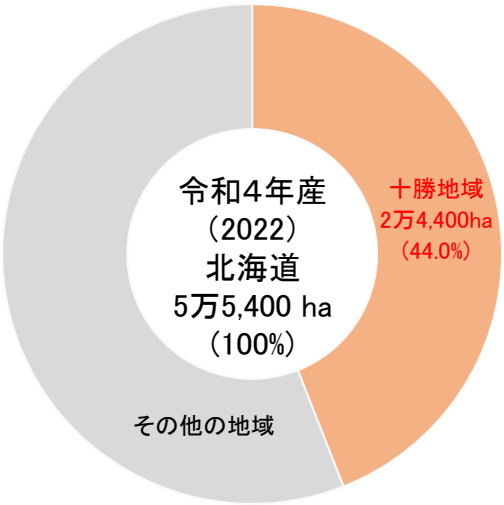


資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

てんさい

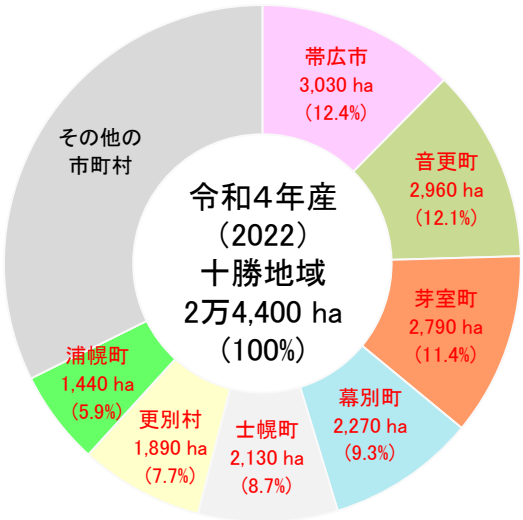
- 令和4年産の作付面積は2万4,400haで、北海道の44.0%を占めている。
- 十勝地域管内における市町村別の作付面積は、帯広市（道内3位）、音更町（同4位）、芽室町（同5位）の順となっている。
- 収穫量は142万8,000ｔで、北海道の40.3%を占めている。
- 作付面積は前年産に比べて1,100ha減少し、10a当たり収量も1,570kg低下したことから、収穫量は46万4,000ｔ減少した。

作付面積の割合



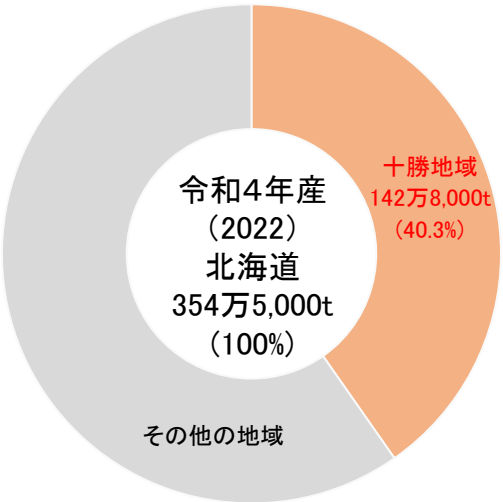
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



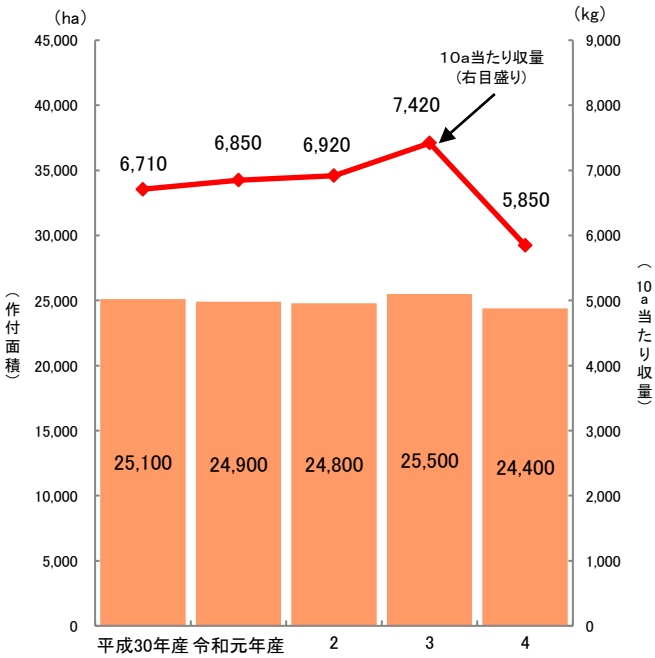
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

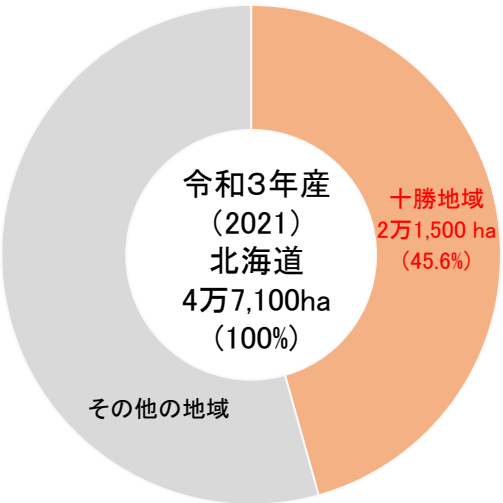


資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

ばれいしょ

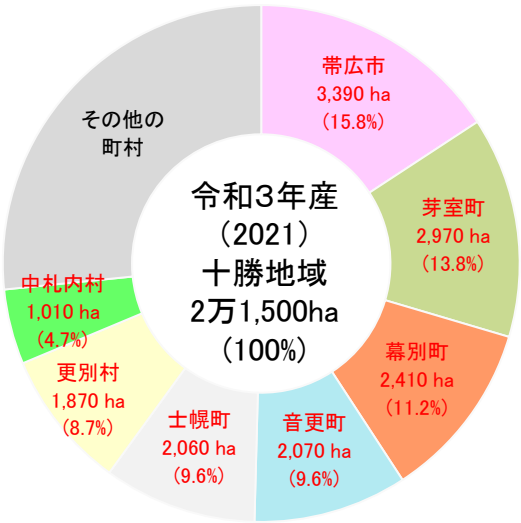
- 令和3年産の作付面積は2万1,500haで、北海道の45.6%を占めている。
- 作付面積の多い市町村は、帯広市（道内1位）、芽室町（同 2位）、幕別町（同 4位）の順となっている。
- 収穫量は78万900ｔで、北海道の46.3%を占めている。
- 作付面積は前年産に比べて300ha減少したものの、10a当たり収量が190kg上昇したことから、収穫量は3万100ｔ増加した。

作付面積の割合



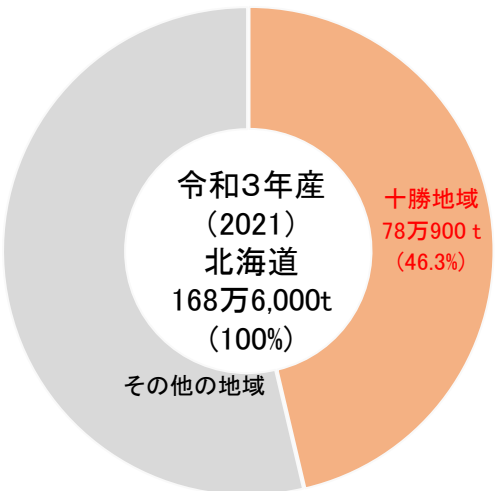
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



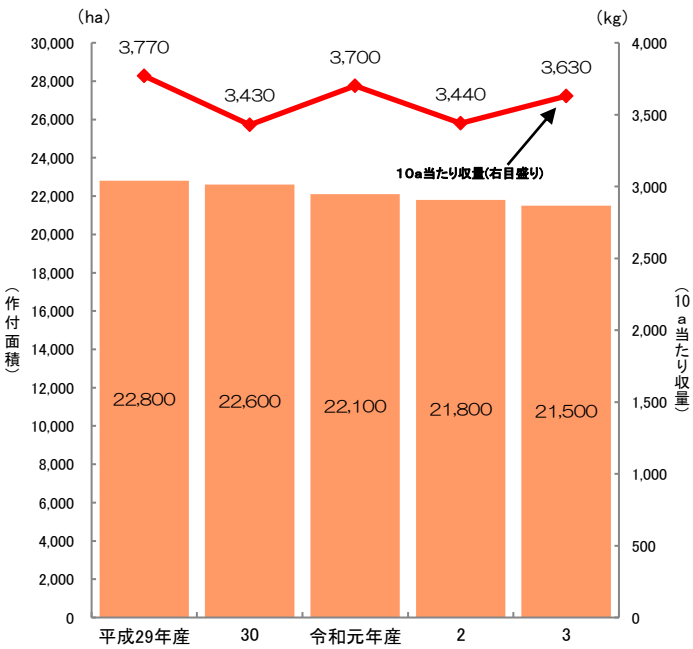
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移



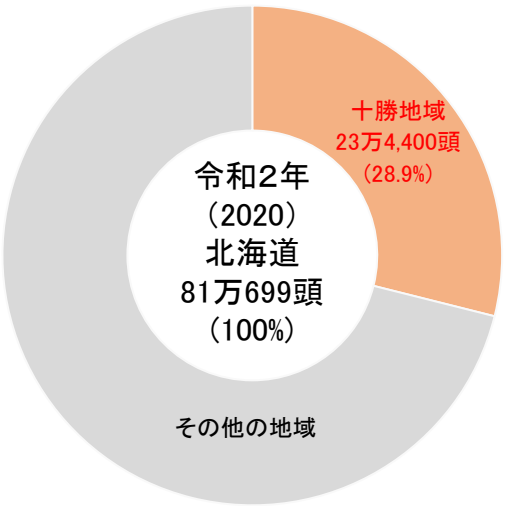
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

乳用牛

- 令和2年2月1日現在の飼養頭数は23万4,400頭で、北海道の28.9%を占めている。
- 市町村別の飼養頭数は、 清水町、大樹町、上士幌町、鹿追町、士幌町の順となっている。
- 牧草専用地の面積は6万7,057haで、北海道の16.1%を占めている。
- 1経営体当たり飼養頭数※の推移は、112.3頭（2005年センサス）、145.1頭（ 2010年センサス） 160.8頭 （ 2015年センサス） 、195.3頭 （ 2020年センサス）で、年々飼養規模の拡大が進んでいる 。

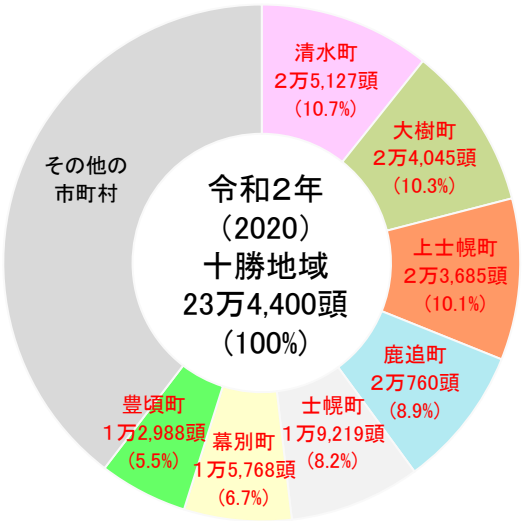
※1経営体当たり飼養頭数は、農林業センサスの乳用牛飼養経営体数と飼養頭数により算出している。

飼養頭数の割合



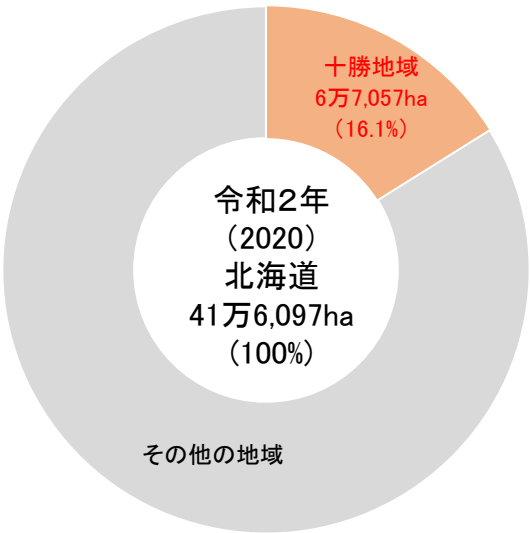
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

市町村別の飼養頭数割合



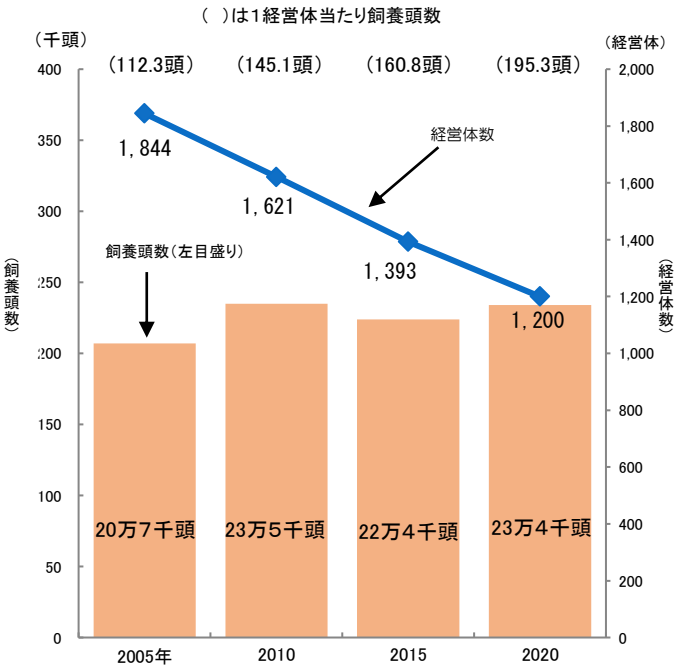
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

牧草専用地の割合



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

飼養頭数・飼養経営体数の推移



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

第3 地域の取組事例

1 スマート農業の導入、実証

管内全域

労働力不足の解消、作業効率の向上（有限会社中島生産組合）

【搾乳ロボット】
最大40頭まで、全自動で搾乳可能であり、従業員の搾乳作業の軽減を目的に導入。
計画的な休暇取得を実現。

十勝管内の農業経営体においては、規模拡大を進めるに当たって課題となる、労働力不足の解消、作業効率の向上を目的として搾乳ロボットをはじめとする各種ロボット農機等を導入して積極的にスマート農業に取り組んでいます。

大規模酪農経営の中札内村の有限会社中島生産組合では、一度に最大40頭の搾乳作業を完全自動処理ができるアジア初のロータリー型搾乳ロボットを導入し、大幅な労働力の縮減が図られました。その後、十勝管内をはじめ道内での導入が進んでいます。

また、管内では生産者と研究機関及び民間企業との共同研究にも取り組み、先端技術の開発、活用に向けた動きも活発です。

【ロボットトラクタとの協調作業】
（畑作農家での現場実装）

2 バイオマス産業都市

管内全域

カーボンニュートラルの実現に向けて、「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組

【バイオ液肥散布車】

十勝管内全19市町村は、「バイオマス産業都市」（H25）に選定され、管内に48基のバイオガスプラントが建設されています（R3十勝町村会データより）。

鹿追町では、ゼロカーボンの町づくりとして、令和4年5月に「しかおい水素ファーム」が稼働を始め、バイオガスから水素を製造する日本初の取組が行われています。

【鹿追町公用車：水素燃料電池車】

【バイオガスプラント全景】

3 農福連携の取組

幕別町

人手を要する作業で就労継続支援事業所と通年で連携
-北王農林株式会社-

【トウモロコシ皮むき作業の様子】

【トウモロコシのレトルト商品】

北王農林株式会社は、約50haの農地でじゃがいも、小麦、小豆、てんさいのほか、野菜を生産する農業生産法人であり、幕別町や帯広市内の就労継続支援事業所の利用者を施設外就労として受け入れ、農福連携の取組を進めています。

町が開催した農福連携セミナーへの参加を機に、障がいのある人に担ってもらえる作業を模索していた中、令和２年４月、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から需要減となったじゃがいもの販売方法について、800gの小袋詰めであれば販売可能との情報を得ることができ、人手を要する袋詰め作業を就労継続支援事業所に依頼したことから、取組が始まりました。

同年９月には、自社加工によるトウモロコシのレトルト製品の商品化に向け、皮むき作業（１万本）を同事業所に依頼することで商品化を実現し、同社の直売所や新千歳空港などでの販売を開始しました。

現在では、トウモロコシの収穫作業のほか、アスパラガスの収穫作業を依頼するなど、通年での作業発注を実現し、就労継続支援事業所との連携を深めています。

4 【GI･GFP】「十勝川西長いも」

帯広市、十勝管内

JA帯広かわにし等の「十勝川西長いも」

【アメリカと台湾向けパッケージ】

【選別、包装、箱詰等の設備】

帯広市川西農協が、昭和46年から始めたながいもの作付け。

特徴は、長さが短いとっくり型で、肌・肉質もともに外観が白く褐変しにくく、歯ごたえや食感がよくとろろにした時の粘りも強いことから、高い評価を受けています。

そのことから、作付面積は順調に拡大をしており、帯広市をはじめ十勝管内10JAに生産地を広げているところです。

また、平成11年から開始した台湾への輸出も「高品質で安全・安心な商品」として人気が広まり販路をさらに拡大、今ではアメリカ、台湾、シンガポール等へ輸出しています。

平成28年には、海外での名称の不正使用に対応するため、地理的表示（GI）保護制度に「十勝川西長いも」が登録されました。また、平成29年には国際規格であるSGF（Safe Quallity Food）認証も取得しました。

現在は、更なる品質向上や鮮度保持等を目的に選別、包装、箱詰めの作業を自動化する設備を導入し、省力化を図り増産体制を構築して輸出拡大を目指しています。

5 オーガニック給食の実現を目指す

幕別町

心も体も元気になるおいしい野菜を届けたい
- 小笠原農園 -

【小笠原御夫妻】

【カフェのランチメニュー】

◎ 有機農業

小笠原さんは、職員として長年勤めた役場を退職し、奥さんとともに平成24年に就農しました。

その後、当初からの目標である「心も体も元気になるおいしい野菜を生産したい」という思いから有機栽培を目指しました。当初、収量が安定しないなどの苦労を重ねた上、土作り、病害発生の早期予見などの経験を積み、今では豆類は慣行栽培並みの収量を確保できています。

自ら生産した農産物についても、飛び込み営業で独自の販路を開拓し、契約出荷により安定した収入を確保することができるようになりました。

また、令和３年12月、十勝総合振興局において設立された「とかちオーガニック振興会」に参画し、有機農業に関する情報交換や仲間作りを積極的に行っています。

今後は、地場農産物についての理解等を深めるため、学校給食の「月イチオーガニック給食運動」といった出口対策の実現を目指しています。

◎ 6次産業化

令和2年にオープンし、「野菜をもりもり食べたい」という願いを叶えてくれる、カフェ「菜びより」が「灯里（ひより）」として令和5年４月にリニューアルオープンしました。

有機野菜等を用いた旬のおばんざいは、自由に取り分けて食べるスタイル。完全予約制でアレルギーや、ヴィーガンにも対応。提供している野菜は併設する農産物直売所で販売もしています。

6 スペルト小麦で地域貢献

音更町

古代ヨーロッパの香りを栽培
- 中川農園 -

【中川泰一代表】

【スペルト小麦パン】

◎ スペルト小麦

スペルト小麦とは、現在のパン用小麦の原種に当たる古代穀物で、人工的な品種改良がほとんど行われていない小麦です。

被殻が厚いことから汚染物質や害虫から内部の穀粒を守ってくれるため、化学肥料や殺虫剤等をほとんど用いることなく栽培することが可能で、さらにアレルギーの発症も少ないのが特徴です。

この小麦を生産する音更町の中川泰一さんは、中川農園の3代目で、就農するにあたって、「人の役に立ちたい。『食』であれば、自分も貢献できるのはないか。」と化成肥料を有機質肥料に置き換えたり、農薬を薄めて使用するなどの栽培方法に20年以上前から取り組み、今では有機栽培を実現しています。

有機栽培でのスペルト小麦の作付けに関しては、収量が現代の小麦の1/3～1/2くらいで、販売先の確保が大変なこともあり、他に作付けを希望する生産者が出てこないことが課題となっています。

このため、中川さんは2018年に毎週水曜日だけ営業するパン店『ピリカアマム』を開業。スペルト小麦を用いた商品を販売し、自らPRしており、好評を得ています。

スペルト小麦の粉は、水がなじみやすく、捏ねる手間が少ないとのことです。

ピリカアマムは、「地域貢献の一つの取組であり、課題は様々あるが、これからも安全・安心な農作物を栽培していきたい。また、みどりの食料システム戦略が策定され、有機農業に取り組みたいと手を上げる農家が増えてきた。」と語ってくれました。

データ編

- 市町村別の総土地面積、耕地面積、総人口等　・・・・・・・・15
- 市町村別の農業産出額（推計）　・・・・・・・・16

市町村別の総土地面積、耕地面積、総人口等

市町村	総土地面積	道内シェア	耕地面積 計	道内シェア	田	道内シェア	畑	道内シェア	総人口	道内シェア	世帯数	道内シェア	農業経営体数	道内シェア
	km²	%	ha	%	ha	%	ha	%	人	%	戸	%	経営体	%
十勝地域	**10,832**	**13.0**	**254,600**	**22.3**	**761**	**0.3**	**253,800**	**27.6**	**328,861**	**6.4**	**171,401**	**6.1**	**5,266**	**15.1**
帯広市	619	0.7	22,900	2.0	－	－	22,900	2.5	164,014	3.2	89,966	3.2	613	1.8
音更町	466	0.6	24,300	2.1	373	0.2	23,900	2.6	43,268	0.8	20,699	0.7	668	1.9
士幌町	259	0.3	15,900	1.4	－	－	15,900	1.7	5,883	0.1	2,754	0.1	348	1.0
上士幌町	694	0.8	11,200	1.0	－	－	11,200	1.2	4,890	0.1	2,590	0.1	159	0.5
鹿追町	403	0.5	12,200	1.1	－	－	12,200	1.3	5,144	0.1	2,492	0.1	221	0.6
新得町	1,064	1.3	6,520	0.6	0	0.0	6,520	0.7	5,581	0.1	3,230	0.1	108	0.3
清水町	402	0.5	14,900	1.3	－	－	14,900	1.6	9,047	0.2	4,685	0.2	335	1.0
芽室町	514	0.6	21,400	1.9	－	－	21,400	2.3	18,029	0.4	8,021	0.3	546	1.6
中札内村	293	0.4	7,110	0.6	－	－	7,110	0.8	3,902	0.1	1,932	0.1	144	0.4
更別村	177	0.2	11,500	1.0	－	－	11,500	1.3	3,158	0.1	1,365	0.0	221	0.6
大樹町	816	1.0	14,200	1.2	－	－	14,200	1.5	5,439	0.1	2,794	0.1	160	0.5
広尾町	596	0.7	6,190	0.5	－	－	6,190	0.7	6,229	0.1	3,231	0.1	92	0.3
幕別町	478	0.6	22,500	2.0	31	0.0	22,500	2.4	25,897	0.5	12,601	0.4	514	1.5
池田町	372	0.4	9,510	0.8	339	0.2	9,170	1.0	6,159	0.1	3,272	0.1	227	0.7
豊頃町	537	0.6	11,500	1.0	－	－	11,500	1.3	2,977	0.1	1,464	0.1	169	0.5
本別町	392	0.5	12,000	1.1	18	0.0	12,000	1.3	6,375	0.1	3,464	0.1	245	0.7
足寄町	1,408	1.7	13,400	1.2	－	－	13,400	1.5	6,350	0.1	3,359	0.1	220	0.6
陸別町	609	0.7	6,060	0.5	－	－	6,060	0.7	2,217	0.0	1,283	0.0	72	0.2
浦幌町	730	0.9	11,300	1.0	－	－	11,300	1.2	4,302	0.1	2,199	0.1	204	0.6

資料：国土交通省国土地理院「令和５年全国都道府県市区町村別面積調（４月１日時点）」
農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計（令和４年）」、「2020年農林業センサス」
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和５年１月１日）」
注：ラウンドの関係で、計と内訳は一致しない場合がある。

市町村別の農業産出額（推計）

市町村：1,000万円

市町村	農業産出額	道内順位	耕種 小計	道内順位	米	麦類	雑穀	豆類	いも類	野菜	工芸農作物	その他作物	畜産 小計	道内順位	肉用牛	乳用牛	生乳	豚	鶏	その他畜産物
十勝地域																				
帯広市	2,832	7	2,072	2	－	299	0	225	486	729	291	x	760	33	223	493	413	38	1	5
音更町	2,519	10	1,634	6	0	318	0	296	310	439	263	x	885	27	173	578	463	x	92	x
士幌町	2,835	6	874	15	－	113	0	110	341	131	177	2	1,962	5	776	1,154	927	0	－	32
上士幌町	2,239	12	299	62	－	28	0	37	138	33	57	7	1,940	6	495	1,375	1,073	x	－	x
鹿追町	2,050	13	452	37	－	74	1	60	141	86	85	5	1,598	9	252	1,285	1,057	40	2	19
新得町	1,075	43	126	98	0	23	6	20	25	36	14	3	949	24	398	551	447	0	0	1
清水町	2,859	5	503	32	－	127	2	87	110	71	103	4	2,355	4	598	1,620	1,375	60	65	13
芽室町	2,566	9	1,930	3	－	291	1	181	463	731	258	5	636	45	268	349	290	16	0	4
中札内村	1,272	29	549	30	－	46	0	36	189	167	109	2	723	37	7	418	334	x	139	x
更別村	1,193	34	839	17	－	96	0	114	344	110	168	x	354	67	54	295	231	－	2	4
大樹町	1,744	15	165	90	－	26	1	23	41	31	38	5	1,579	10	124	1,450	1,169	x	－	x
広尾町	784	62	43	129	－	1	－	1	7	3	13	x	741	35	58	681	540	－	－	3
幕別町	2,955	3	1,692	4	0	211	1	139	383	734	209	4	1,263	15	204	971	795	3	－	85
池田町	793	61	436	39	0	101	0	76	45	116	81	x	357	66	155	193	167	x	－	x
豊頃町	1,400	24	392	47	－	57	0	101	143	36	49	x	1,008	22	103	775	619	128	－	2
本別町	1,116	39	418	42	－	114	0	102	88	20	90	x	697	40	131	536	379	0	－	31
足寄町	1,031	46	179	86	－	35	0	28	32	34	35	x	852	29	226	603	483	－	－	23
陸別町	528	81	14	144	－	7	－	－	0	0	3	5	514	50	38	473	396	－	－	3
浦幌町	1,116	38	456	36	－	77	1	45	126	85	119	x	661	44	244	414	349	－	－	3

資料：農林水産省統計部「令和３年市町村別農業産出額（推計）」
注１：「市町村別農業産出額（推計）」は、都道府県別農業産出額を農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分して作成したものである。
注２：その他農作物は、果実、花き及びその他作物の計であり、秘匿措置が講じられている品目を除いて単純に合算したものである。